



丸石様ご夫妻

勝山市 エコミュージアム ニュース 2022

令和4年度の取り組み



第1部の講演会には34名の参加がありました。「あたりまえ」とは一人一人が前向きに考えること。～がないとできない。～のせいできないという人が多い。地域のためになるのは結果の話。スタートから地域を意識しすぎない。集団の合意形成より一人の責任ある人を応援しよう。という言葉が印象的でした。(講演会内容抜粋)

「おもっしえまちにしよ」

「あたりまえ」が普通にあるまち池田町から学ぶ

講師:まんまるファーム代表 丸石純一氏
令和4年11月23日(祝・水)実施

以前から池田町人口数千という少数でありながら、活気のある町だなと思っていました。今回、池田町丸石純一氏の講演はとても興味がありました。印象としてはやはり見えないところで苦労はなさっていたということ、また継続行事においても行政との連携や、工夫をしていること多々ありました。これらのお話をきいて、自分たちの活動にも活かせる場所があり、とても参考になりました。

副会長 中村啓一



第2部はグループに分かれて雪室貯蔵そば粉のそばがき、コーヒーの試食をしながら意見交換をしました。



1-1 遅羽町住民協議会

カタクリまつりとバンビラインハイキング

4月10日に『カタクリまつりとバンビラインハイキング』を開催しました。参加者はカタクリの花の群生を見ながらここならではの景色や自然の美しさを満喫しました。第2展望台では勝山市を一望する景観に感嘆の声があがりました。

1-2 まちづくり・むろこの会

登山者向け駐車場の看板設置

駐車場の案内看板が無く登山者に不便をかけていたため、村岡小第2体育館裏に駐車場看板、入り口に誘導看板を設置しました。また、まちづくり会館に問い合わせにいられた方のために駐車場等を記載した村岡山周辺の地図も作成しました。

2-1 勝山地区まちづくり協議会

子どもたちの灯り「行灯のひかり」

今年の「灯りまつり」も昨年度と同じくかつやまっ子応援ネットワークとの共催で開催をしました。今年は成器西・南小児童の作品の他に、「勝山探究プロジェクト」と題して勝山中部中学校の芸術部が、繊維工場で使用されていた糸車を再利用したランプ30灯を作成しました。

2-2 猪野瀬まちづくり推進協議会

いのせウォーク

例年、春と秋の2回地域を学ぶということで行っている。東・北・西の3コースを順々に回って、猪野瀬地区を網羅している。今春は、毛屋高島若猪野を巡り、泰澄大師御生母廟所や各神社の位置を確認できた。歴史の勉強になる。

2-3 NPO法人まちづくりのむきの会

のむき風の郷感謝祭

私たちの活動の大きな柱の一つに「四季彩祭り」というイベントがあります。「のむき風の郷感謝祭」は、一年の最後に、ご来店くださった皆さんへの感謝を込めて開催しているものです。今年も、晴天の下、たくさんの人たちにご来店いただき、私たちも皆さんに感謝の気持ちを伝えることができました。



2-4 荒土町ふるさとづくり推進協議会

炭焼き

炭の材料である原木の調達や炭鎌の修繕など、課題を抱えながら、どうにか2回実施しました。荒土小学校4年生児童には今年も炭焼きの体験をしていただきました。鼻の回りを真っ黒にして一生懸命頑張っていました。



2-5 縄文の里料理研究会

「案山子」づくり

「案山子^{かかし}」で三室まつりを盛り上げたいと会として提案してから数年がたち、定着した行事となりました。今年は縄文人の生活というテーマをいただき、全員で取り組みました。創意工夫の結果、今にも話しかけてきそうなリアルな縄文人が完成！大満足。10月2日開催の三室祭りに出展、町民の方に大変喜んでもらいました。遅羽町を代表する縄文の里を今後もアピールしていきたいです。



2-6 NPO法人 せいきコミュニティスポーツクラブ

スポーツで人・モノを動かす仕組みづくり

私たちは“勝山スポーツコミッション”です。勝山に根づく文化とスポーツをツールに、地域コミュニティ・地域経済を活性化し、勝山ブランドを醸成・発信するため、“する人・観る人・支える人”を一元的に応援しています。



2-7 いのせポーノくらぶ

産業フェア参加

久々の出店でした。今回は物販のみで参加しました。おもに地元の野菜を中心に揃えました。特に旬の里芋、洗い子、つまみな、紅あおい、うませ柿、さつまいも、ユズ等を並べたので来場者にも喜んでもらえました。活気があふれるフェアとなりました。



2-8 むろこ女性の会

3年生の赤とんぼ発表

村岡小学校3年生に赤とんぼ保全授業をさせていただきました。児童たちはとても関心を持ってくれました。卵採取を自主的にする姿があり、また、発表会では赤とんぼになって勝山の宝を探すとという劇を演じました。宝は赤とんぼ自身というストーリーに感動！



2-9 本家勝山小笠原の会

殿さまに感謝祭

200年程、勝山には小笠原という殿さまがおりました。開善寺山門が小笠原様式を今に伝えています。いにしへの時代に思いをはせ、開善寺を身近に感じてもらえるよう、夏には「殿さま祭り」秋には「殿さまに感謝祭」を開催しました。

2-10 谷はやし込み保存会

谷はやし込み行列

晴天に恵まれた8月15日、23回目の谷はやし込み行列が行われました。保存会、勝山市内の方々、カメラマン等約80名の参加がありました。今年も勝山子どもの村小学校教職員の参加を頂きました。午後7時谷教会で練習。毎回20名の参加がありました。

自然環境部会

★ 赤トンボの卵の採取してみました ★

10月12日 村岡まづくり会館裏の田んぼにて

当日は曇天でしたが、薄日が差し込んで来ると同時に赤トンボが現れ、観察会ができました。私は悪戦苦闘の末、やっと一匹を捉え、早速慎重にトンボの尾を瓶の水につけると見事に次々と産卵してくれました。

赤トンボを容易に観察できる土地の自然の素晴らしさを改めて感じました。私が体験できた赤トンボの産卵の素晴らしい感動を一人でも多くの人に感じてもらいたいと思いました。

竹原 幸雄



★ 自然塾体験 ★

10月14日 スキージャム勝山にて

- ・裸足になって普段感じない五感を感じられた。
- ・地球の46億年の歴史を歩きながら学び、人類の歴史はほんのわずかだと思った。
- ・分かりやすい解説で考えさせられる460mだった。
- ・歴史を視覚で確かめたことで、印象に残った。
- ・生活の中で水の使い方を少し変える意識が芽生えた。
- ・「地球は、子孫から借りているもの」という言葉が心に残る学習だった。



食の部会

令和4年度は、縄文の里料理研究会による勝山道の駅で雪室米おにぎり弁当販売を行い、好評を得ました。令和5年度も販売します。また「雪室米」を販売するために作業を進めていきます。今後雪室を知ってもらい、大地の恵みを美味しく皆様に提供していきたいです。

食の部会長 田中 秀則

雪室なんでも相談会 R4.7.8(金)

講師：SnowBiz代表 伊藤親臣氏

雪室についての基本的な話の後、食の部会から質問し、解決に向けての提案がありました。雪室に貯蔵することで米の鮮度・品質は保たれるが、熟成があまりないとのこと。いかにとれたての鮮度を保つかポイントの1つだと言われ、精米は寒い時期にした方がよいとのこと。そこで、冬の寒いときに精米して貯蔵、販売を目指すことにしました。乞うご期待。



雪室そば粉試食会 R4.10.21(金)

場所：ゲストハウス「おちゃのま民泊みつけ」

主催：勝山市雪室ブランド推進会議

水上勝山市長、雪室会議の福原委員長、SnowBiz代表の伊藤氏ほか、雪室会議構成員が参加。雪室そば粉を使った佐藤喜代子五段の手打ちそば、勝山地域おこし協力隊松本氏・星乃蔵福田氏のピザ、食の部会の作るガレット、りんごケーキの他、三国屋善五郎さんの雪室貯蔵のお茶「式部の香り」、食の部会の雪室米のおにぎりがるまわりました。お茶は、確かにまろやかでした。そば粉100%のりんごケーキも好評を得ました。

貯蔵品開発商品を研究する時期は過ぎたと思います。最新の雪室施設を新設することが急務です。NHKを始め、マスコミ各社に取材にきて頂きましたが、雪氷熱の利活用が謳われて十年以上経過していますので、雪氷熱利活用の事業が進むことを期待します。

令和4年度の活動から

むろこ女性の会は、平成24年4月に創立し、満10年を迎えました。村岡地区に災害があった時は、女性の視点から支援をしようと、5つのサークル活動とむろこジオcaféを軸にし、日頃から仲間同士の繋がりを大切に活動しています。



【むろこジオcafé】



ジオ巡り① 遅羽地区 パンピライン登山



ジオ巡り② 勝山地区 旧城下町巡り



ジオ巡り③ 鹿谷地区 ホタル観賞



プラネタリウム観察・しおり体験



勝山高校 日本文化部 太鼓鑑賞



法恩寺山 赤とんぼ観察&マーキング



スキージャム 自然塾体験



村岡町文化祭 もったいない市開催



勝山の魅力発掘 ジオcaféDVD視聴会

【防災活動】



防災マスク作り



消火器で消火体験



AED救急法体験



熱中症予防タオルを
災害ボランティアセンターへ

第12回

日本ジオパーク全国大会 白山手取川大会に参加しました！



地球と旅する

テーマ 地球と旅する ～白山手取川の地から地球と人の未来を考える～

会期 令和4年10月21日(金)～23日(日)

◆プレジオツアー 20日～ ◆ポストジオツアー ～24日

会場 白山市松任文化会館ピーノ及びJR松任駅周辺施設

大会報告 笠松誠一氏

【10月22日(土)】

① 開会式のオープニングアトラクション

白峰の「かんこ踊」が披露された。風や雪や花など自然がテーマであり、特に三番では噴火やその際の心構えがうたわれており、まさにジオ大会のオープニングにふさわしいものであった。

② 基調講演 国立科学博物館 真鍋 真氏

「恐竜化石から過去、現在と未来の地球を考える」

桑島化石壁をはじめとする白山手取川ジオパークが世界に誇る地質遺産であることを再認識した。その地層に連なる勝山も単に恐竜化石の宝庫という事だけでなく、地球規模の長い時間軸でとらえたストーリー展開を発信していく必要がある。

③ パネルディスカッション テーマ「地球と旅する」

コーディネーター：金沢大学 青木 賢人氏

いつもながら大学の先生らしからぬ楽しい進行で時間がたつのを忘れてしまった。

パネリストのうち、世界のジオパークを巡った写真家の谷口京氏とアゼルバイジャン出身の金大アイダ氏の発言で、世界的な視野でジオパークをみていく必要を感じた。

④ 分科会 「ジオパークだからこぞできるDX化」

コーディネーター：金沢工業大 福田 崇之氏

ジオパーク活動での知見が経済を牽引する企業や諸団体の重要なシーズであり、それがデジタル化されることで、メタバースなどの新技術により付加価値をつけていく、企業・組織の在り方も変化させることになる。

【10月23日(日)】

□頭発表、ポスター発表があった。特に北海道 様似中学校の「かんらん岩」をモチーフに観光、食、まちづくりにつなげる発表に感銘をうけた。



様似中学校の発表



ポストジオツアー

ポストジオツアー 23～24日

「世界でここだけ！フグの卵巣の糟漬けを食す地を探索」北前船と伏流水の美川地区めぐりに参加した。

分科会報告 藤井由紀夫氏

「自然災害伝承碑とジオパーク」

日本国土地理院には伝承碑の定義があって、地方自治体(行政)から申請されて認定されたものだけが地図に落とし込まれているという事を初めて知りました。

各地のジオパークでは、その伝承碑から実態を調査し、その背景にある資料等を整理しながらジオツアーのコースに加えている。場合によっては、伝承碑に限定したジオツアーも検討されているようです。

分科会では次の

- ① 男鹿半島・大湊ジオパーク
- ② 浅間山北麓ジオパーク
- ③ 箱根ジオパーク
- ④ 糸魚川ジオパーク

の4件の取り組み事例発表がありました。また、これらの各ジオパーク間同士でネットワークによる情報交換や共有をしているそうです。

我ジオパークでも、まずは伝承碑の申請を進めるべきだと強く感じました。

大変内容の濃い分科会に参加できてよかったです。



当協議会からは、22日(土)に先遣地視察として日帰りで参加しました。交流会は2ヶ所複数会場に別れたので当会参加者全員での撮影ができず残念！

プレジオツアー 恐竜ほって、芋ほって、勝山深堀り満喫ツアー 10/20～21

勝山市
ジオパークガイドの会が
全国大会のプレジオツアー
を担当しました。

北は青森から南は五島列島という5名のお客様をお迎えし、勝山ならではの体験を中心に案内しました。体験での楽しそうなお客様にガイド側も嬉しいツアーとなりました。ここだけの体験、今後も取り入れて企画したいと思います。 勝山市ジオパークガイドの会 山岸 登美子



ゆめおーれ勝山見学



ドキドキ発掘ランド



本多農園での芋ほり体験



大矢谷白山神社